

(様式 2-1) 社会資本総合整備計画 事後評価書 (案)

1. 整備計画													
計画の名称		良好な住環境の実現											
計画の期間				令和元年度 ~ 令和4年度		交付対象		静岡県・焼津市					
計画の目標		地区内では区画整理により道路を含む住環境の整備を進めているが、現状では歩道が未整備となっている道路があり、地域住民が通行する際に歩行者と車両のすれ違いなどに危険が生じる場合がある。このため、車両の往来が多い幅員12m以上の道路について歩道の整備を推進し、自動車や歩行者が安心して通行でき快適に生活できる住環境を創出する。											
計画の成果目標 (定量的指標)		幅員12m以上の道路について歩道の整備を行い、整備率を100%にする。											
定量的指標の定義及び算定式								定量的指標の現況値及び目標値			備考		
								当初現況値	中間目標値	最終目標値			
								(R元当初)	(R 末)	(R4末)			
①		幅員12m以上の道路の歩道整備率：歩道整備延長/幅員12m以上の道路計画延長 (%) H30末現在：9,844.9m/10,497m=93.8% H34末目標：10,497m/10,497m=100%						94%	—	100%			
②													
③													
全体事業費		合計 (A+B+C)	633 百万円	A	633 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)		0%	
事業種別		主な交付対象事業	要素となる事業名 (事業箇所)			事業内容 (延長・面積等)			市町名	全体事業費 (百万円)	備考		
街路			会下ノ島石津地区 ((都) 黒石通り線外)			区画整理 A=42.3ha			焼津市	516			
事業数			焼津南部地区 ((都) 黒石通り線外)			区画整理 A=166.4ha			焼津市	117			
2													
2. 事業の進捗状況 (○：計画期間中に完成 △：計画期間終了後に完成見込 —：その他 (備考欄に具体的に記入 (中止、未実施等)) (計画期間中に他の整備計画に移行したもので、●：本計画の期間中に完成 ▲：本計画の期間終了後に完成見込)													
計画の移行なし		○	1	△	0	—	0	備考	計画の移行あり	●	0	▲	1
3. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況													
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> 焼津市南部土地区画整理事業は、計画していた全ての歩道整備が完了している。 会下ノ島石津土地区画整理事業は目標には満たなかったが、黒石通り線の開通や12-1号線、12-2号線との交差点整備により、連続性のある道路網が形成されたことで、快適に生活できる住環境の向上が図られた。(実績：10,285m/10,497m=98.0%) 											
II 定量的指標の達成状況		指標① (幅員12m以上の道路の歩道整備率)	最終目標値	100 %	目標値と実績値に差が出た要因	土地区画整理事業途中の道路整備において、他事業 (河川改修) に伴う橋梁架替え時期との調整により、取り合い区間の整備を見送ることとなり、暫定形態での道路供用となったため。							
			最終実績値	98 %									
		指標② ()	最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因								
			最終実績値										
		指標③ ()	最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因								
			最終実績値										
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況													
4. 今後の方針等													
目標未達成分については引き続き社会資本整備総合交付金を活用し、効果的に歩道整備を進め早期の目標達成を目指していく。													

(1) 事業の目的

焼津市内の土地区画整理事業区域内では、区画整理の整備により道路を含む住環境の向上に努めている。しかし、現状では歩道が未整備となっている道路があり、地域住民が通行する際に歩行者と車両のすれ違いなどに危険が生じる場合がある。このため、区域内の道路について歩道の整備を推進し、自動車や歩行者が安心して通行し快適に生活できる住環境を創出する。

(2) 指標：焼津市土地区画整理事業区域内のうち、幅員12m以上の道路の歩道整備率向上

土地区画整理事業区域内のうち、幅員12m以上の道路の事業箇所を対象とした。

指標の達成状況

令和4年度末の最終実績率は98.0%であり、目標（100%）を達成しなかった。主な理由は、河川改修に伴う橋梁架け替え時期との調整により、橋梁取り合い区間の整備に着手できなかったためである。しかし、黒石通り線の開通などにより歩道整備が図られたため、安全な歩行空間は確実に広がりを見せている。

計画の成果目標	定量的指標		
	R1当初	R4末最終目標	R4末最終実績
焼津市内の土地区画整理区域内における幅員12m以上の道路の歩道整備率	93.8% (9,844.9m/10,497m)	100% (10,497m/10,497m)	98.0% (10,285m/10,697m)

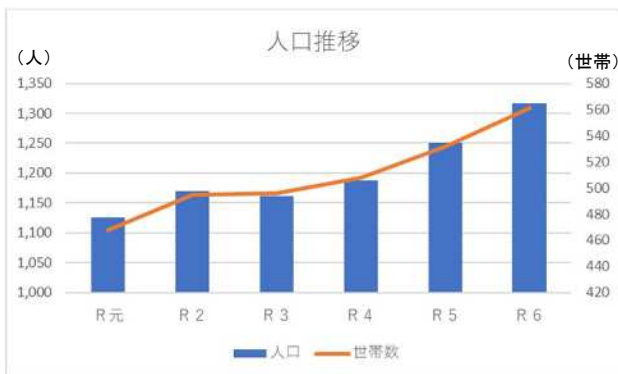
【歩道整備延長／幅員12m以上の道路計画延長】（単位：m）

(3) 指標に関連する実施事例 64-A1（都）黒石通り線（焼津市石津）（歩道整備）

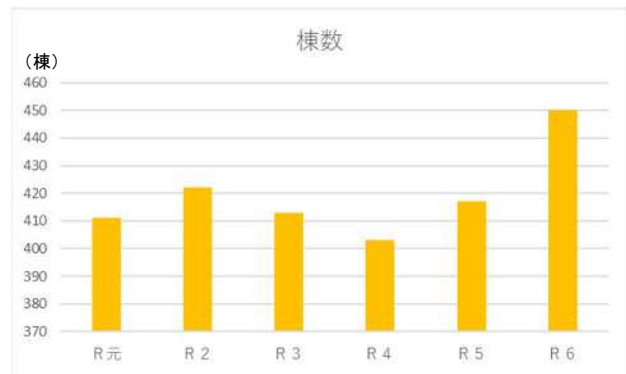


(4) 定量指標以外の効果発現状況

土地区画整理事業区域内の公共施設整備が進み、安全で快適な魅力ある住環境が創出されたことから、人口・家屋が増加傾向にあり街としての成長を続けている。



※事業区域内の人口及び世帯数



※事業区域内の建築物の棟数

(5) 今後の方針と目標達成見込み

引き続き、区域内の公共施設整備を進め、令和12年度の完了を目指す。

様式 3

社会資本総合整備計画

